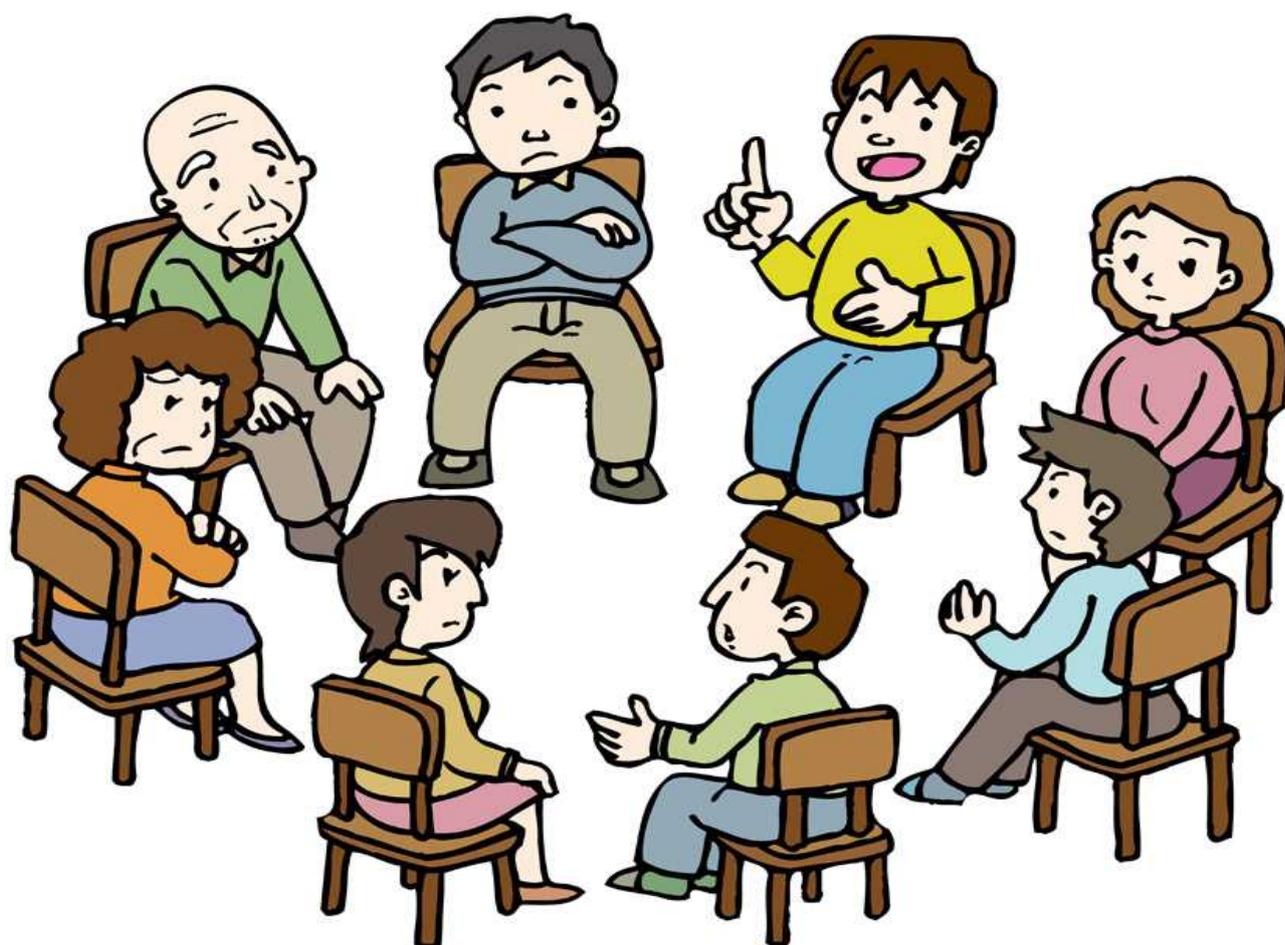


# まちづくり防犯グループに関する アンケート調査結果



令和6年4月

兵庫県県民生活部  
くらし安全課地域安全対策班

# まちづくり防犯グループ代表者を対象とした アンケート集計結果（令和5年度）

## 1 調査概要

### (1) 調査テーマ

まちづくり防犯グループの活動等について

### (2) 調査対象者

まちづくり防犯グループ1,897グループの代表者

### (3) 調査期間

令和5年12月1日～令和5年12月22日（前回：令和4年12月8日～令和4年12月22日）

### (4) 調査方法

防犯グループの代表者に対して、QRコード（ゲーグルフォーム）入りアンケートの依頼文を送付し、インターネットで実施

### (5) 回答数

518グループ・回答率27.3%（前年調査：756グループ・回答率38.9%）

県民局	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
対象数	305	415	156	142	147	147	346	82	42	115	1897
回答数	115	66	38	42	65	39	102	20	3	28	518
回答率	6.1%	3.5%	2.0%	2.2%	3.4%	2.1%	5.4%	1.1%	0.2%	1.5%	27.3%

## 2 調査結果の概要

（以下は「活動中の団体である」と回答があった518グループを対象としたもの。

※各設問ごとの無回答を除いた、有効回答を抽出し分析を行った。

### (1) 防犯グループの構成状況

#### 防犯グループの少人数化・高齢化が進んでいる

10名以下のグループが48.5%、11名～30名のグループが32.4%と全体の約80%を占めており、グループの少人数化が進んでいる。

グループ内での構成年齢について、一番多い年代が70歳代と回答があったグループが46.9%、60歳代と回答があったグループが39.0%と、全体の約85%を占めている一方で、50歳代以下が多いと回答があったグループは約10%と低く、依然としてグループの高齢化が進んでいる。

グループとして、60歳代以上の方を中心に活動しているところがほとんどである。

#### 約80%のグループが防犯パトロール、約56%のグループが子供見守り活動を行っている

「防犯パトロール」は、79.9%のグループが行っており、そのうち14.5%が毎日行っている。

時間帯は、昼夜を問わずまんべんなく行っている。

重点場所は、通学路・住宅街を中心に実施しているグループが多い。

「子ども見守り活動」は56.4%のグループが行っており、そのうち52.7%が毎日行っている。

時間帯は、午前7時～午前9時までのグループが73.6%、午後2時～午後4時までのグループが40.1%であり児童の登下校の時間帯を中心に行っているグループが多い。

重点場所は、「学校周辺の交差点」「通学路の児童に付き添い」と回答したグループが多く、登下校を中心に見守り活動を行っているグループが多い。

活動を行っているグループの中から、朝夕の登下校時にどちらも活動を実施しているとの意見も多数あった。

### (3) 活動の継続

#### 前年度と同様に活動人員の確保するのに一番苦労している

防犯グループの活動継続の為に「活動人員の確保」が必要と答えたグループが72%であり、そのうち活動人員確保の為に44.5%のグループが「自治会等で一定人数を選出する」、37.3%のグループが「若い人を活動に参加するよう勧誘する」と回答している。

### (4) 他団体との連携

#### 他団体と連携する防犯グループが約5割

他団体と「連携がある」と回答したグループが81.9%あり、半数以上のグループが他団体と連携し、活動を行っている。

連携先は、「警察」「防犯協会」が59%と最も多かった。

### (5) 防犯カメラの設置

#### 半数の防犯グループは防犯カメラを設置しており、設置しているグループの約5割が新たに増設を希望、設置していない防犯グループについても約3割が設置を検討している状況で、依然として防犯カメラに関する関心は高い状況

防犯カメラの増設を検討しているグループが52.6%、設置予定のグループが2.0%、設置を検討しているグループが26.2%あり、増設の必要がない理由として、58%が必要箇所に設置出来ているとし、28%が予算の都合上、費用の確保ができないと回答している。

### (6) 地域安全マップの作成

約43%の防犯グループが地域安全マップを自主的に作成し、約51%が小学校等の作成活動に参加している。自主的に作成するとともに、小学校等の作成活動に参加しているという防犯グループについては約4%であった。

### (7) 活動に対するやりがい

#### 約6割の防犯グループが活動に「やりがい」「おもしろさ」を感じている

64.3%のグループが活動にやりがい・おもしろさを感じている。

60.7%のグループが住民から感謝されたときや、声をかけられたとき、約35.4%が安全安心なまちづくりに寄与していると感じたときに「やりがい」「おもしろさ」を感じており、地域の安全安心に貢献することに対して、やりがい・おもしろさを感じている。

### (8) 体感治安

#### 地域住民の約92%は地域の治安が良いと感じている

「住んでいる地域は安心して暮らせる地域だと思う」と回答したグループが92.7%であり大部分の人が体感治安は良いと感じている。

#### ※参考

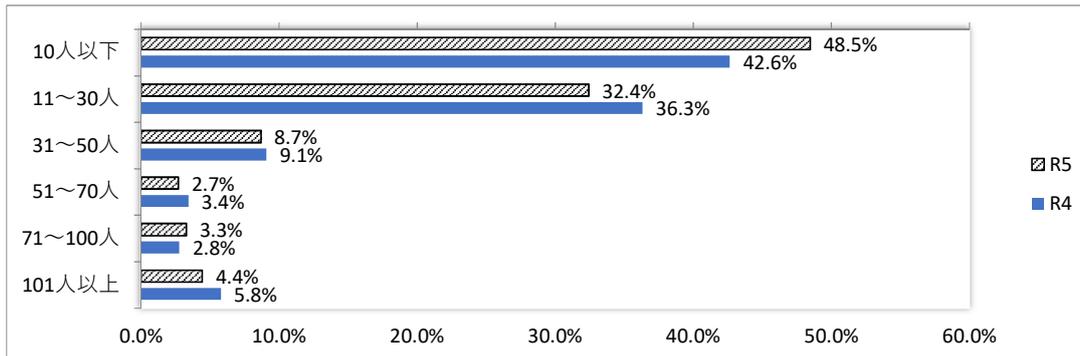
令和4年8月に、県内居住者5,000人を対象に実施した「『兵庫のゆたかさ指標』県民意識調査」での質問では、回答者2,250人のうち70.3%が「治安がよく、安心して暮らせる」と回答している。

### 3 集計結果

別添資料Q 1からQ10のとおり（棒グラフは、上が今回の調査結果、下が前回の調査結果である。）

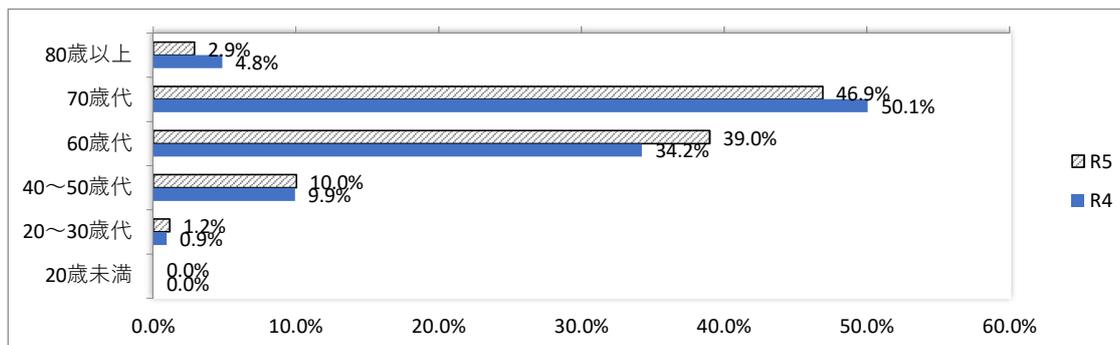
Q 1 あなたの防犯グループの構成人数は何人ですか。（該当項目を1つ選択）

1 10人以下	48.5%	（前回 42.6%）
2 11～30人	32.4%	（前回 36.3%）
3 31～50人	8.7%	（前回 9.1%）
4 51～70人	2.7%	（前回 3.4%）
5 71～100人	3.3%	（前回 2.8%）
6 101人以上	4.4%	（前回 5.8%）



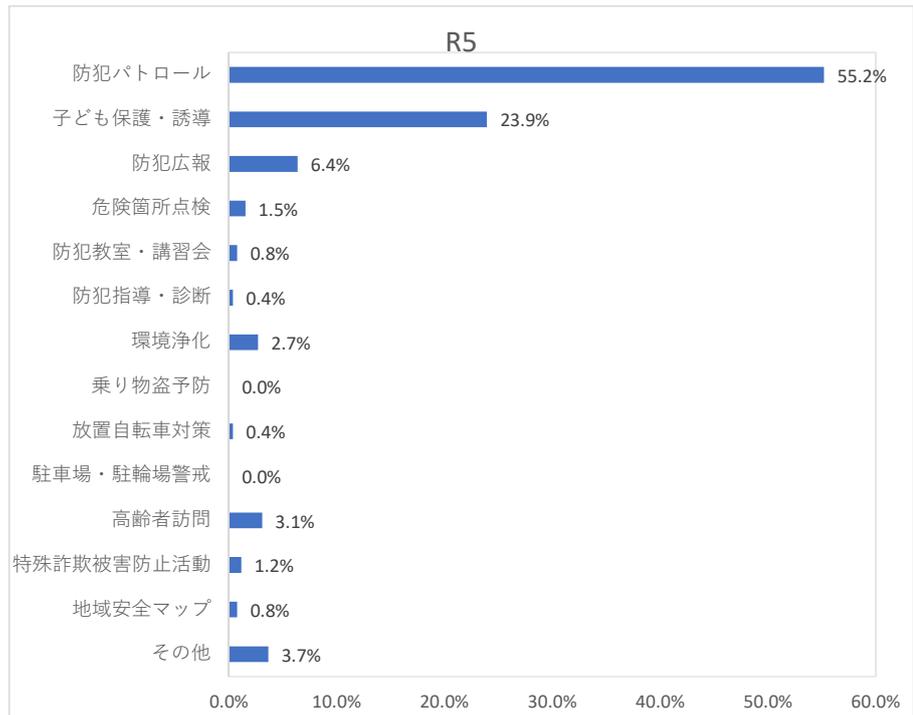
Q 2 あなたの防犯グループに参加する方は、どの年代の方が一番多いですか。（該当項目を1つ選択）

1 80歳以上	2.9%	（前回 4.8%）
2 70歳代	46.9%	（前回 50.1%）
3 60歳代	39.0%	（前回 34.2%）
4 40～50歳代	10.0%	（前回 9.9%）
5 20～30歳代	1.2%	（前回 0.9%）
6 20歳未満	0.0%	（前回 0.0%）



Q3 あなたの防犯グループは、主にどのような活動を行なっていますか。（該当項目を一つ選択）

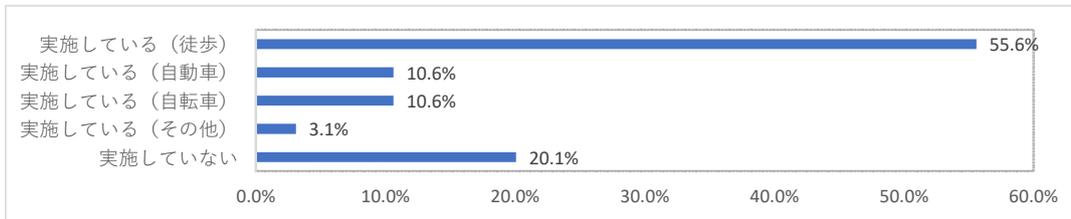
1 防犯パトロール	55.2%
2 子ども保護・誘導	23.9%
3 防犯広報	6.4%
4 危険箇所点検	1.5%
5 防犯教室・講習会	0.8%
6 防犯指導・診断	0.4%
7 環境浄化	2.7%
8 乗り物盗予防	0.0%
9 放置自転車対策	0.4%
10 駐車場・駐輪場警戒	0.0%
11 高齢者訪問	3.1%
12 特殊詐欺被害防止活動	1.2%
13 地域安全マップ	0.8%
14 その他	3.7%



Q3-1 防犯パトロールについて

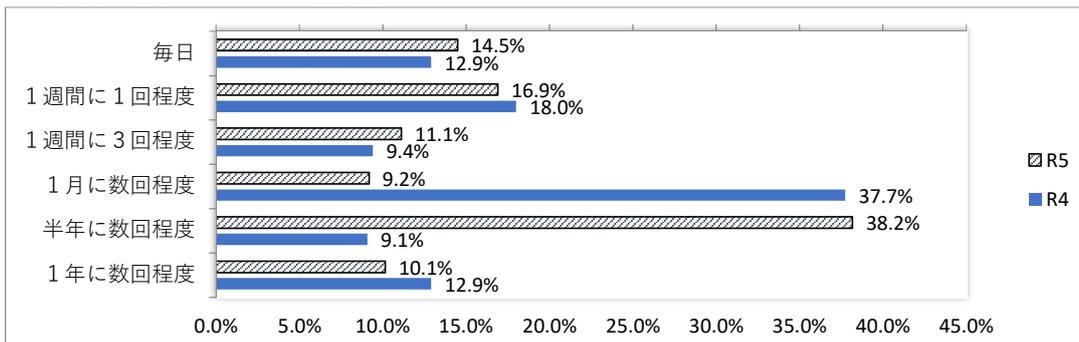
(1) 防犯パトロール活動を実施していますか。（該当項目を1つ選択）

1 実施している（徒歩）	55.6%
2 実施している（自動車）	10.6%
3 実施している（自転車）	10.6%
4 実施している（その他）	3.1%
5 実施していない	20.1%



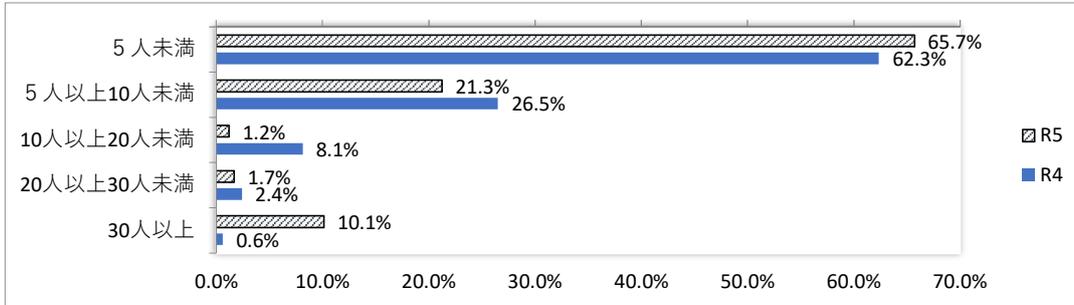
(2) 防犯パトロールを行う頻度はどれくらいですか。（該当項目を1つ選択）

1 毎日	14.5%	（前回 12.9%）
2 1週間に1回程度	16.9%	（前回 18.0%）
3 1週間に3回程度	11.1%	（前回 9.4%）
4 1月に数回程度	9.2%	（前回 37.7%）
5 半年に数回程度	38.2%	（前回 9.1%）
6 1年に数回程度	10.1%	（前回 12.9%）



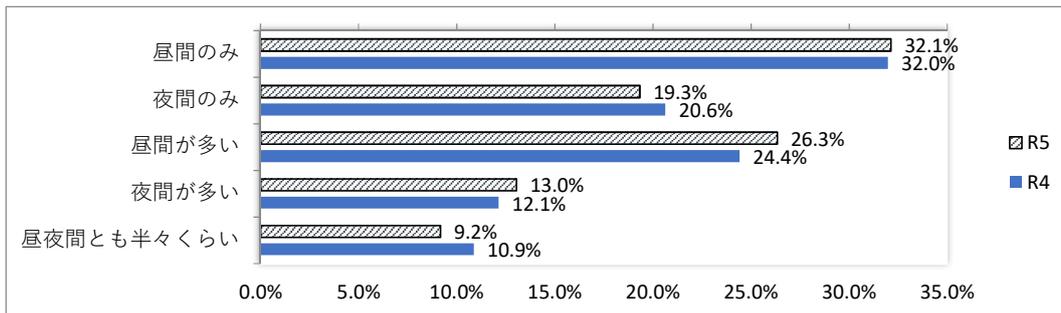
(3) 防犯パトロール1回あたりの参加人数は何人くらいですか。(該当項目を1つ選択)

1 5人未満	65.7%	(前回 62.3%)
2 5人以上10人未満	21.3%	(前回 26.5%)
3 10人以上20人未満	1.2%	(前回 8.1%)
4 20人以上30人未満	1.7%	(前回 2.4%)
5 30人以上	10.1%	(前回 0.6%)



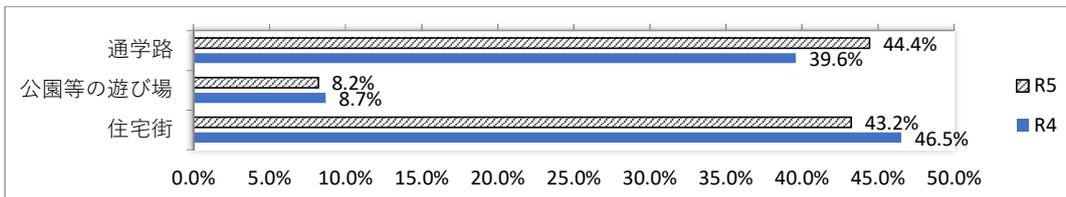
(4) 防犯パトロールを行なう時間帯はいつ頃ですか。(該当項目を1つ選択)

1 昼間のみ	32.1%	(前回 32.1%)
2 夜間のみ	19.3%	(前回 19.3%)
3 昼間が多い	26.3%	(前回 26.3%)
4 夜間が多い	13.0%	(前回 13.0%)
5 昼夜間とも半々くらい	9.2%	(前回 9.2%)



(5) 防犯パトロールを重点的に行なっている場所はどこですか。(該当項目を1つ選択)

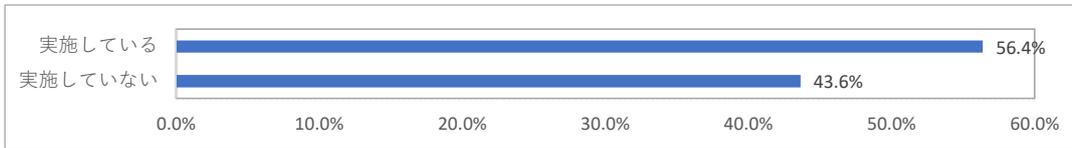
1 通学路	44.4%	(前回 39.6%)
2 公園等の遊び場	8.2%	(前回 8.7%)
3 住宅街	43.2%	(前回 46.5%)



Q3-2 子供の見守り活動について

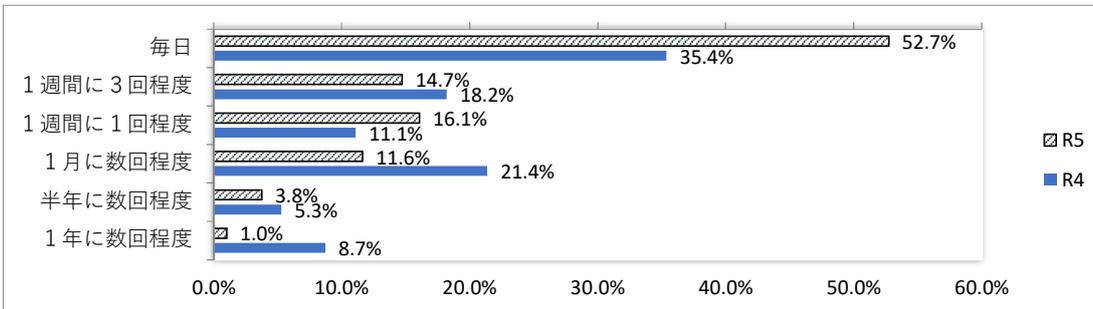
(1) 見守り活動を実施していますか。(該当項目を1つ選択)

- 1 実施している 56.4%
- 2 実施していない 43.6%



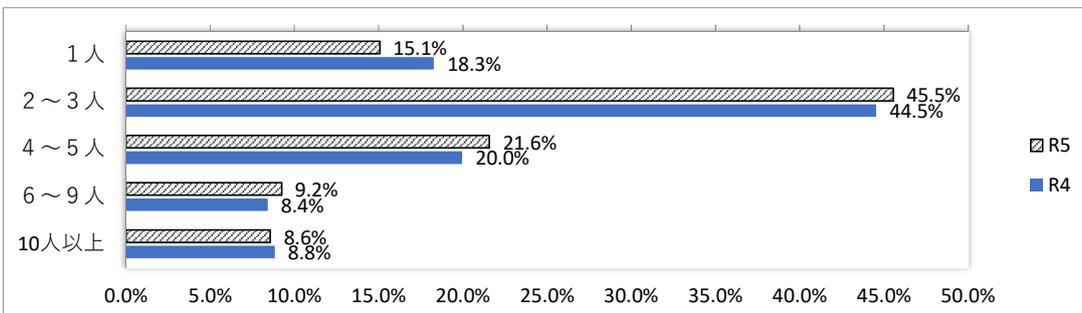
(2) 見守り活動を行なう頻度はどれくらいですか。(該当項目を1つ選択)

- 1 毎日 52.7% (前回 35.4%)
- 2 1週間に3回程度 14.7% (前回 18.2%)
- 3 1週間に1回程度 16.1% (前回 11.1%)
- 4 1月に数回程度 11.6% (前回 21.4%)
- 5 半年に数回程度 3.8% (前回 5.3%)
- 6 1年に数回程度 1.0% (前回 8.7%)



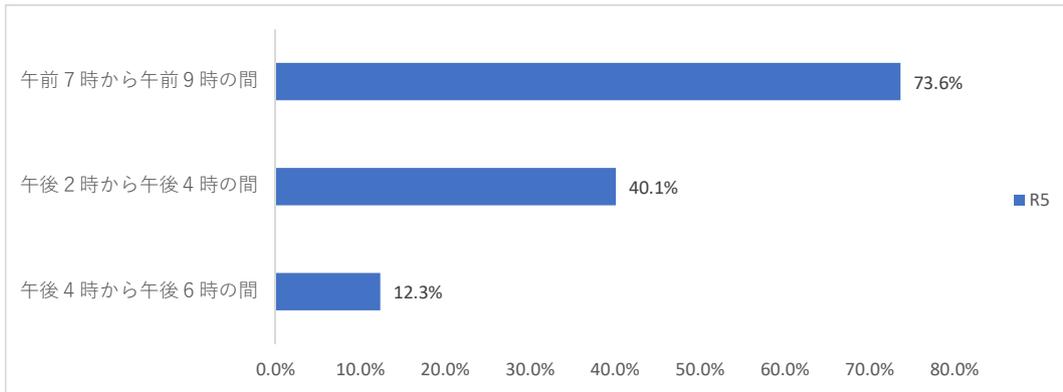
(3) 見守り活動1回あたりの参加人数は何人くらいですか。(該当項目を1つ選択)

- 1 1人 15.1% (前回 18.3%)
- 2 2～3人 45.5% (前回 44.5%)
- 3 4～5人 21.6% (前回 20.0%)
- 4 6～9人 9.2% (前回 8.4%)
- 5 10人以上 8.6% (前回 8.8%)



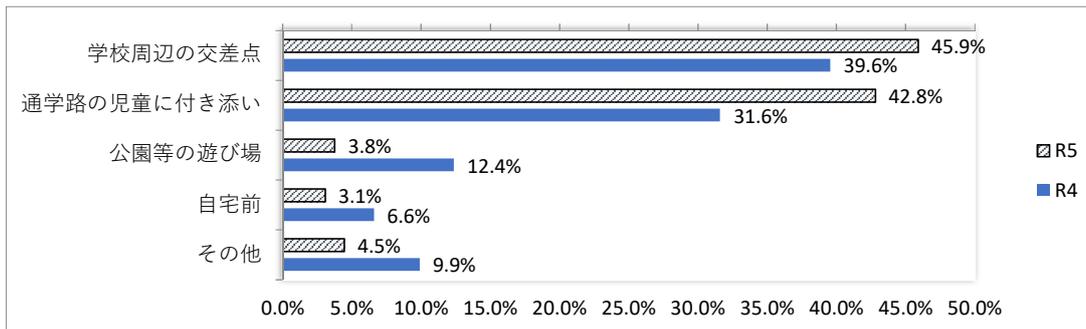
(4) 見守り活動を行なう時間帯はいつ頃ですか。(該当項目を全て選択)

- |   |              |       |
|---|--------------|-------|
| 1 | 午前7時から午前9時の間 | 73.6% |
| 2 | 午後2時から午後4時の間 | 40.1% |
| 3 | 午後4時から午後6時の間 | 12.3% |



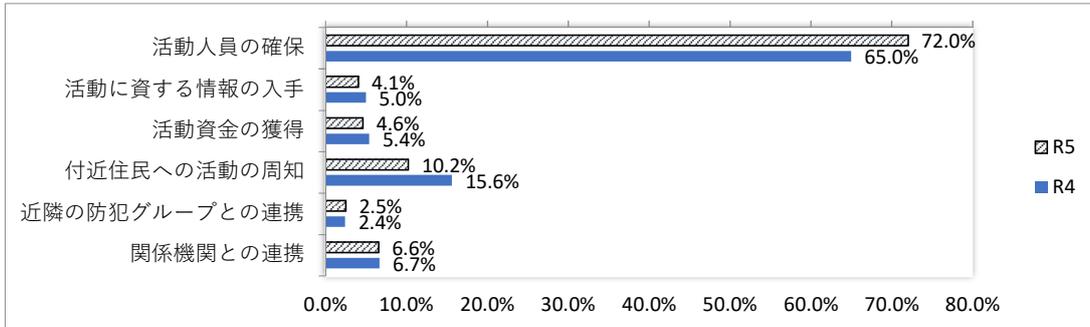
(5) 見守り活動を重点的に行なっている場所はどこですか。(該当項目を1つ選択)

- |   |             |       |            |
|---|-------------|-------|------------|
| 1 | 学校周辺の交差点    | 45.9% | (前回 39.6%) |
| 2 | 通学路の児童に付き添い | 42.8% | (前回 31.6%) |
| 3 | 公園等の遊び場     | 3.8%  | (前回 12.4%) |
| 4 | 自宅前         | 3.1%  | (前回 6.6%)  |
| 5 | その他         | 4.5%  | (前回 9.9%)  |



**Q 4 防犯グループの活動を今後も継続していくために一番必要なことは何ですか。**  
 (該当項目を1つ選択)

1 活動人員の確保	72.0%	(前回 65.0%)
2 活動に資する情報の入手	4.1%	(前回 5.0%)
3 活動資金の獲得	4.6%	(前回 5.4%)
4 付近住民への活動の周知	10.2%	(前回 15.6%)
5 近隣の防犯グループとの連携	2.5%	(前回 2.4%)
6 関係機関との連携	6.6%	(前回 6.7%)

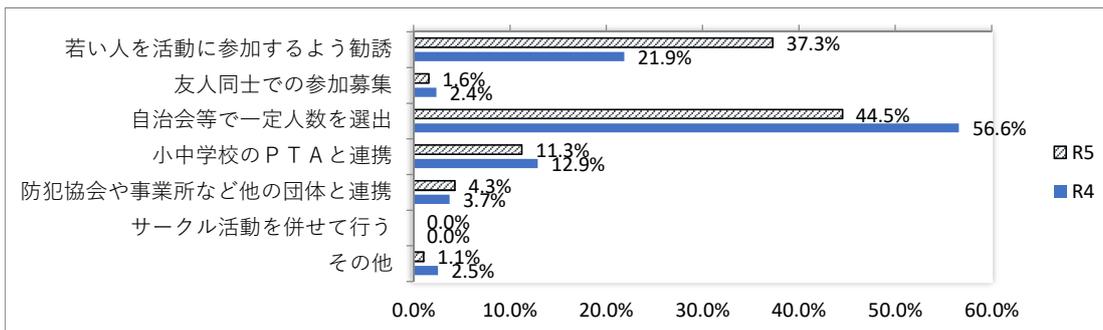


**Q 4-1 (Q 4で「活動人員の確保」を選んだ方のみ)**  
 活動人員を確保するために一番必要なことは何ですか。(該当項目を1つ選択)

1 若い人を活動に参加するよう勧誘する	37.3%	(前回 21.9%)
2 友人同士での参加を募集する	1.6%	(前回 2.4%)
3 自治会等で一定人数を選出する	44.5%	(前回 56.6%)
4 小中学校のPTAと連携する	11.3%	(前回 12.9%)
5 防犯協会や事業所など他の団体と連携する	4.3%	(前回 3.7%)
6 サークル活動を併せて行う	0.0%	(前回 0.0%)
7 その他	1.1%	(前回 2.5%)

**【その他】**

ふれまち協議会、婦人会、青年団、子供会など

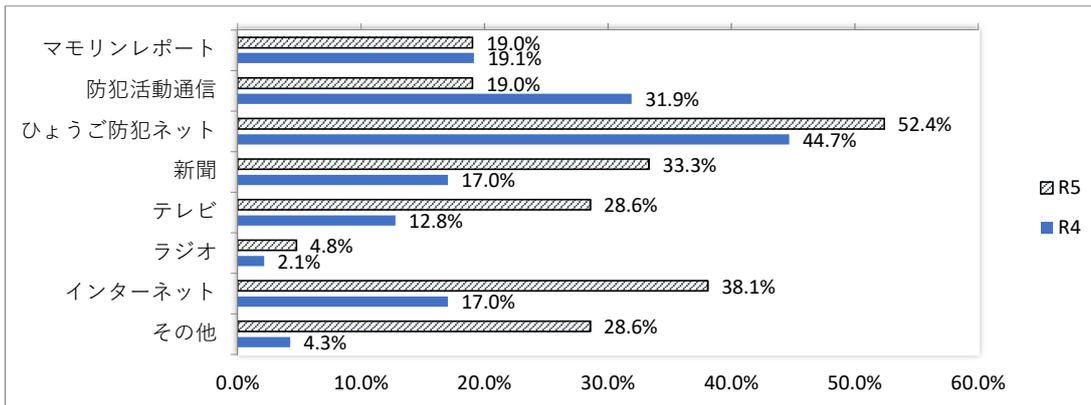


Q4-2 (Q4で「活動に資する情報の入手」を選んだ方のみ)  
 情報を入手する際に活用する媒体は何ですか。(該当項目を全て選択)

1	マモリンレポート	19.0%	(前回 19.1%)
2	防犯活動通信	19.0%	(前回 31.9%)
3	ひょうご防犯ネット	52.4%	(前回 44.7%)
4	新聞	33.3%	(前回 17.0%)
5	テレビ	28.6%	(前回 12.8%)
6	ラジオ	4.8%	(前回 2.1%)
7	インターネット	38.1%	(前回 17.0%)
8	その他	28.6%	(前回 4.3%)

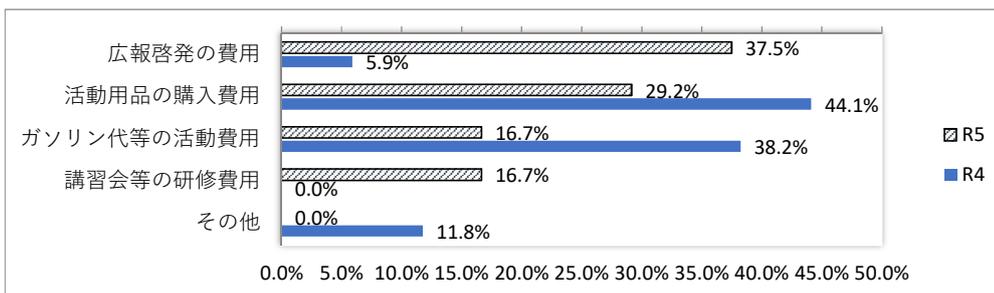
【その他】

市広報誌、市が行う防犯・防災メール、交番・駐在所だより、学校、PTA、防犯協会



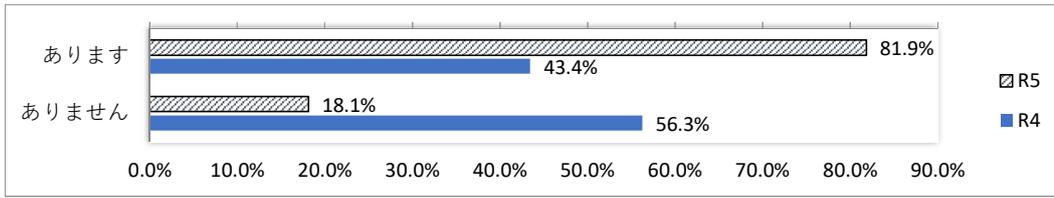
Q4-3 (Q4で「活動資金の獲得」を選んだ方のみ)  
 活動資金が一番必要なことは何ですか。(該当項目を1つ選択)

1	広報啓発の費用	37.5%	(前回 5.9%)
2	活動用品の購入費用	29.2%	(前回 44.1%)
3	ガソリン代等の活動費用	16.7%	(前回 38.2%)
4	講習会等の研修費用	16.7%	(前回 0.0%)
5	その他	0.0%	(前回 11.8%)



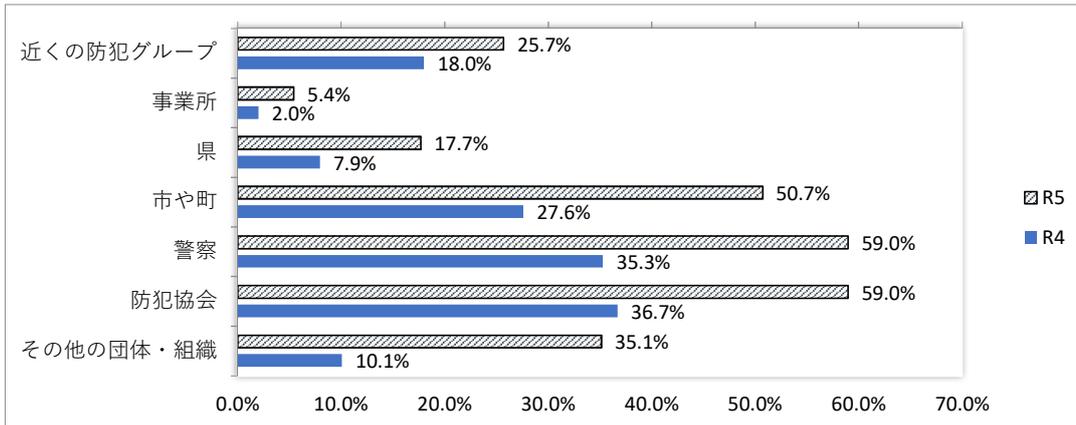
**Q5 あなたの防犯グループは他の団体・組織と連携することがありますか。（どちらかを選択）**

- 1 あります 81.9% (前回 43.4%)
- 2 ありません 18.1% (前回 56.3%)



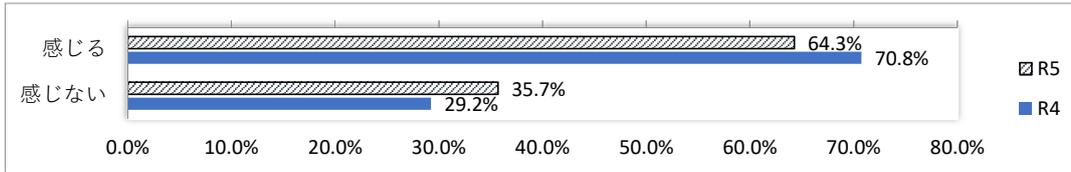
**Q5-1 (Q5で「あります」を選んだ方のみ)**  
**どのような団体・組織と連携したことがありますか (該当項目を全て選択)**

- 1 近くの防犯グループ 25.7% (前回 18.0%)
- 2 事業所 5.4% (前回 2.0%)
- 3 県 17.7% (前回 7.9%)
- 4 市や町 50.7% (前回 27.6%)
- 5 警察 59.0% (前回 35.3%)
- 6 防犯協会 59.0% (前回 36.7%)
- 7 その他の団体・組織 35.1% (前回 10.1%)



**Q6 活動する上で「やりがい」や「おもしろさ」を感じますか。（どちらかを選択）**

- 1 感じる 64.3% (前回 70.8%)
- 2 感じない 35.7% (前回 29.2%)



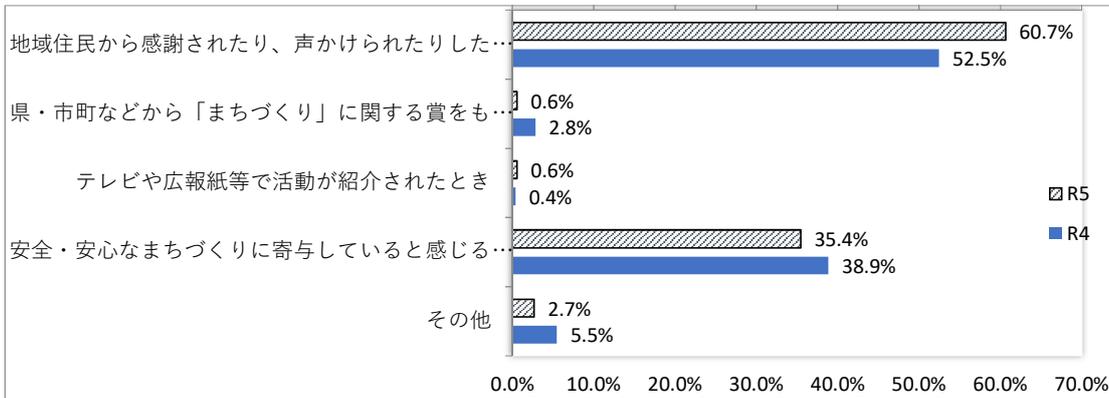
**Q6-1 (Q6で「感じる」を選んだ方のみ)**

どのようなときに「やりがい」や「おもしろさ」を感じますか（該当項目を1つ選択）

- 1 地域住民から感謝されたり、声をかけられたりしたとき 60.7% (前回 52.5%)
- 2 県や市町などから「まちづくり」に関する賞をもらったとき 0.6% (前回 2.8%)
- 3 テレビや広報紙等で活動を紹介されたとき 0.6% (前回 0.4%)
- 4 安全・安心なまちづくりに寄与していると感じるとき 35.4% (前回 38.9%)
- 5 その他 2.7% (前回 5.5%)

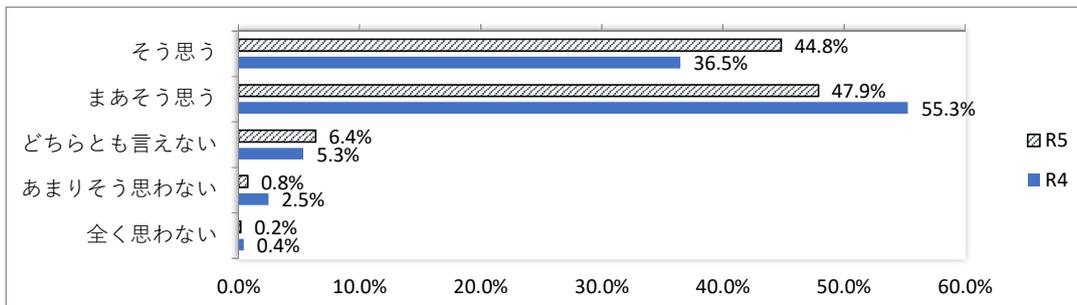
**【その他】**

児童が朝の見守り時に元気な挨拶をしてくれるとき



**Q7 あなたの住んでいる地域は安心して暮らせる地域だと思いますか。（該当項目を1つ選択）**

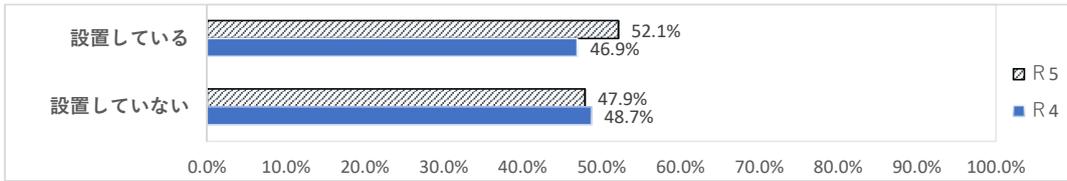
- 1 そう思う 44.8% (前回 36.5%)
- 2 まあそう思う 47.9% (前回 51.6%)
- 3 どちらとも言えない 6.4% (前回 7.0%)
- 4 あまりそう思わない 0.8% (前回 0.8%)
- 5 全く思わない 0.2% (前回 0.1%)



**Q 8 防犯カメラについて**

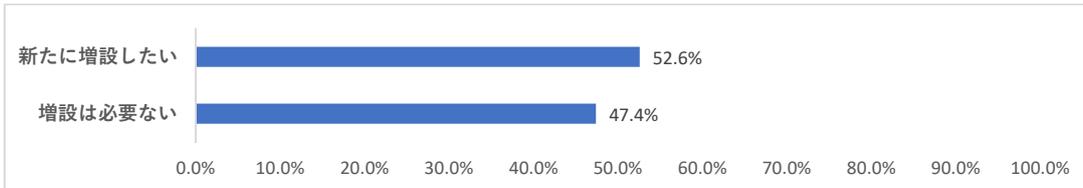
(1) あなたの防犯グループで、防犯カメラを設置していますか。(該当項目を1つ選択)

- 1 設置している 52.1% (前回 25.1%)
- 2 設置していない 47.9% (前回 19.4%)



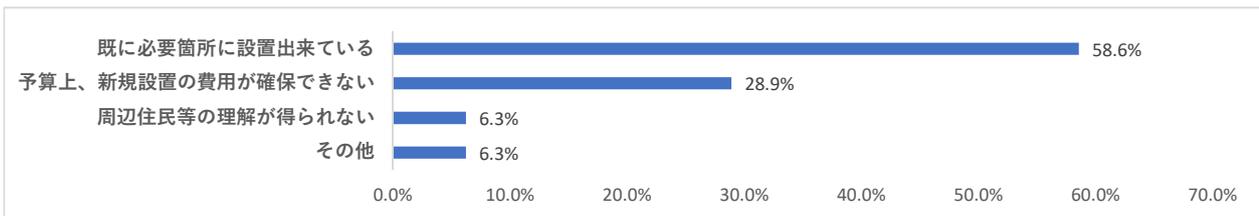
(2) 今後の新たな防犯カメラの設置について ※設置していると回答された方

- 1 新たに増設したい 52.6%
- 2 増設の必要はない 47.4%



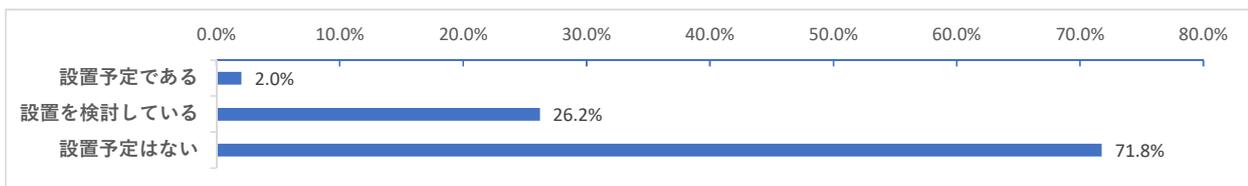
(3) 「増設の必要はない」理由 ※「増設の必要はない」と回答された方

- 1 既に必要箇所に設置出来ている 58.6%
- 2 予算上、新規設置の費用が確保できない 28.9%
- 3 周辺住民等の理解が得られない 6.3%
- 4 その他 6.3%



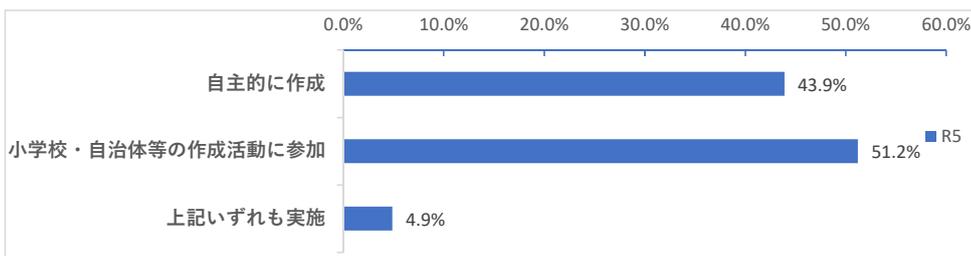
(4) 今後の防犯カメラの設置予定 ※「設置していない」と回答された方

- 1 設置予定である 2.0%
- 2 設置を検討している 26.2%
- 3 設置予定はない 71.8%



**Q 9 あなたの防犯グループで、地域安全マップを作成していますか。(該当項目を1つ選択)**

- 1 自主的に作成 43.9%
- 2 小学校・自治体等の作成活動に参加 51.2%
- 3 上記いずれも実施 4.9%



## Q10 あなたの防犯グループで行なっている効果的な活動事例等

- ・ 町会独自のベストを制作・着用し、どこの町会なのかわかるようにPRしている。そもそも町会自体が地域で身近でなくなってきており、その認知を高めることが防犯の基本だと思う。
- ・ 活動人員確保のために応募サイトへの掲載、警察官及び官公庁職員を志している大学生・高校生の積極的採用、多忙な週でも必ず週1は実施。
- ・ 見知らぬ通行人への「こんにちは」声かけ実施。
- ・ 毎年恒例の年末夜警パトロールの定着化により自分たちの町は自分たちで守ることへの意識付け。
- ・ 元気な若者に、取り敢えず年末の夜回りに1日でも参加してもらって、一緒に回って体験してもらって、そこから定期的な参加を促す。
- ・ 小学校下校予定時刻表の隣保ごとの回覧。毎月、メンバーへのグループ広報配布による意欲喚起
- ・ 地域イベント等への積極的参加
- ・ 特殊詐欺の注意喚起を有線放送 下校時見守り依頼の一斉放送
- ・ パトロールチョッキの購入配布。自転車用ヘルメットの購入配布。等、パトロール者の安全対策に気を使っている姿勢を示す。
- ・ 夏休みのラジオ体操で、各区を回り地域の子どもたちと顔見知りになるよう7月、8月に1回ずつ、行っている。
- ・ 年末特別警戒パトロールを地域自治会をあげて実施している。ながらパトロールを呼びかけている。登校見守り活動をPTAと一緒に実施中。
- ・ 地区の防犯協会の情報を自治会長を通じて速やかに住民に伝え警戒してもらうことが一番としています。そのため広紙誌（防犯協会支部作成）の定期的な全戸配布を徹底しています。
- ・ 暗がりや駐車場の隅をゴミダメにしない
- ・ 毎日の子供の帰宅時に見守りマイク放送を流す
- ・ たすきと当番ノートの持ち回りにより、自治会員全員で交代して子どもの見守り活動を行っていること